

# 令和6年度 教科研修会Ⅱに向けた授業の構想

英語科

## 1 英語科の研究テーマ

目的や場面、状況等に応じて、  
事実や考え、気持ちなどを伝え合う力を高める学習の在り方

## 2 英語科として育成を目指す資質・能力の受け止め (研究テーマに示す力が高まっている生徒の具体的な姿)

- ・ 日常的な話題について、必要な情報 (1 学年)、話や文章の概要 (2 学年)、または社会的な話題について、短い説明や文章の要点 (3 学年) を聞き取ったり、読み取ったりする姿 (1 学年、2 学年、3 学年、聞くこと・読むこと)
- ・ 関心のある事柄について、正確に書く姿 (1 学年、書くこと)
- ・ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書く姿 (2 学年、書くこと)
- ・ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを書く姿 (3 学年、書くこと)

## 3 単元名・学年 「Uluru」・(2年)

## 4 単元の概要 (全9時間扱い 本時は第6時)

### Lesson Goal(LG)【CAN-DO】

Renee に向けて、  
日本のおすすめスポットについてのガイドブックを書こう。【書くこと-I】

### 単元展開

時間	学習内容
第1時	<p>◆ <u>日本のおすすめスポットを紹介し合ったり、Chelsea 先生の友達の情報を知ったりすることを通して、Lesson Goal の見通しをもつ</u></p> <p>・ Chelsea 先生の「来年の夏に友達の Renee が来日する」という情報から日本のおすすめスポットについて友とやり取りした後、観光目的で来日する際に、参考にするものを尋ね、生徒の「ガイドブック」という考えから【Lesson Goal】「Renee に向けて、日本のおすすめスポットについてのガイドブックを書こう」を設定し、単元の見通しを記述する。</p>
第2時 ～ 第3時	<p>◆ <u>教科書にある会話や発表を聞いたり、読んだりすることを通して、第4文型の特徴やきまりを理解し、LGに対する自分の考えをメモに書く</u></p> <p>・ 教科書の登場人物の会話や発表から紹介の時に有効な「give+人+もの」、「call+A+B」や「make+人・もの+形容詞」などの第4文型や第5文型のきまりを確認し、LGに対する自分の考えをメモにまとめる。</p>
第4時 ～ 第5時	<p>◆ <u>「Uluru」について書かれたコラムを読むことを通して、ガイドブックの内容について捉え、LGに対する自分の考えをガイドブックとして書く</u></p> <p>・ コラムに書かれている内容の概要や要点を読み取る。その内容を参考に自分のガイドブックにおすすめスポットとその理由などを書く。</p>
第6時 (本時)	<p>◆ <u>内容が異なる生徒の考えを全体で共有し、全体でのやり取りや Chelsea 先生からの感想を全体で確認することを通して、LGに対する自分の考えを基にガイドブックを加除修正して書く</u></p> <p>・ 数名の生徒のガイドブックの一部を共有し、全体でのやり取りや Chelsea 先生の感想を基に、自分の考えを加除修正する。</p>
第7時 ～ 第9時	<p>◆ <u>ペアやグループで互いのガイドブックを共有することを通して、LGに対する自分の考えを明確にし、ガイドブックを書き、完成させる</u></p> <p>・ 友からの感想や質問を基に、ガイドブックを書き、単元の学習を振り返る (完成したガイドブックは評価に生かす)。</p>

# 英語科学習指導案

令和6年7月3日(水) 5校時 2年B組教室

授業学級 2年B組(40名)

授業者 入間川 浩侑己

1 単元名 「Uluru」

Chelsea Nsonwu (ALT)

2 主眼

※【 】内は、中学校学習指導要領との関連を指している

Renee に向けて、ガイドブックを書く場面で、内容が異なる生徒の考えを全体で共有し、全体でのやり取りや Chelsea 先生からの感想を内容面と言語面から振り返った後、Chelsea 先生の感想を基に自分の考えを見直して書くことを通して、相手を意識して英語を加除修正することができる。

3 Lesson Goal :

Renee に向けて、日本のおすすめスポットについてのガイドブックを書こう。【書くこと イ】

4 本時の位置(全9時間中 第6時)

前時: 「Uluru」について書かれたコラムの概要や要点を読み取り、メモを基に自分の考えを書いた。

次時: 前時書いたガイドブックをペアやグループで共有し、再度ガイドブックを書く。

5 展開

段階	活動	予想される生徒の反応	教師の指導・助言 評価	時間
導入	1 前時を振り返り、本時の見通しをもつ。	ア Chelsea 先生は「Uluru」のガイドブックのコラムは「多くの人向けである」と言っていた。この单元では Renee に向けて書くので、彼女について得た情報を大切にしていきたい。どのように工夫して書いていけばよいか、友の考えも参考にしていきたい。	・教科書にあるコラムについて Chelsea 先生に感想を尋ね、本单元で目指すガイドブックの特徴について、全体でやり取りし、Today's Goal を設定する。	8分
		Today's Goal : Renee に向けて、ガイドブックを書こう。		
展開	2 内容が異なる生徒の考えを全体で共有し、全体でのやり取りや Chelsea 先生からの感想を内容面と言語面から振り返る。  3 Chelsea 先生の感想を基に自分の考えを見直して書く。	イ A さんは「戸隠のそばの歴史」について書いていたが、B さんは、「白馬のスキーの特徴」について書いていた。どのような意図で書いたのだろう。 ウ 【内】A さんは、「日本の文化に興味のある Renee なので、そばの歴史を付け足すことで、日本の文化をより深く理解してもらえかもしれない。」と言っていた。 エ 【内】B さんの考えに対して Chelsea 先生は、「私たちはスキーを見て楽しむという感覚はあまりなかったもので、私たちがもっていない観点から伝えるのはよい工夫だと思う。どのような競技か知りたくなった。」と言っていた。 オ 【言】「make+人・もの+形容詞」を用いて、Renee がそのおすすめスポットを楽しめるということを伝えることができそうだ。 カ Renee がおすすめスポットを安全に楽しめるように、「注意点」という視点から情報を付け足して書きたい。 キ You can't climb Mt. Fuji every season because it is dangerous for you to climb it in winter. You can enjoy sightseeing. You can't take rocks as souvenirs. So, we can make Mt. Fuji clean. If we keep the rules, we can enjoy climbing and watching a view of Mt. Fuji. (一部)	・内容が異なる数名の生徒のガイドブックの一部を全体で共有し、それぞれについて、読む場を設ける。 ・全体で共有した生徒のガイドブックについて、なぜそのように書いたのかについて、全体でやり取りする。 ・Chelsea 先生にそれぞれのガイドブックの感想を尋ね、その内容や用いられている表現について全体で確認し、自身のガイドブックの内容を見直すように促す。 ・Renee の情報を基にガイドブックの内容を考えることを全体で再度確認する。 ・全体で確認したことを基に、自身のガイドブックを書くよう促す。 ・書く内容などに困っている生徒には、Renee の情報について、ともに確認する。	25分  10分
			加除修正された英文(ガイドブック)をロイロノートの記述から読み取り、次時以降の指導に生かす。	
終末	4 本時の学習を振り返る。	ク 【内】Renee に伝わるガイドブックにするために、これまでに書いてきた「注意点」という視点から「注意点を守ることのよさ」について付け加えて、自分の考えを加除修正することができた。【言】自分は、「きれいにさせる」と伝えたいときに、「make+人・もの+形容詞」を用いて表現することができた。	・Today's Goal について、言語面と内容面から振り返るよう促す。 ・クのような記述を全体に紹介し、Lesson Goal に向けて、ガイドブックの完成を目指していくことについて、全体で確認する。	7分